

令和5年12月26日

中津市長 奥塚正典様

中津市議会議長 相良卓紀

まったなしの人口減少対策に立ち向かう提言について

昨今の少子化・人口流出により、中津市においても人口減少が深刻な問題となっています。このような状況の中、若者が安心して住んで子育てができるまち、誰もが住んで良かったと思えるまちづくりをすることで、人口減少対策となるような施策を講じるため、中津市議会では、令和5年第2回中津市議会定例会の自由討議での議論を経た後、7月5日に人口減少対策特別委員会を設置し、これまで議論や意見交換などを重ねてまいりました。

人口減少の問題については、行政運営のみならず、市民生活全般に関わる重要かつ喫緊の課題となっており、その対策については、移住定住の推進だけでなく、出産、子育て、福祉、教育、雇用など様々な分野に関わる対応が必要です。

また、人口減少率・高齢化率の高い旧下毛地域では、日常生活機能や地域コミュニティの維持・確保が必要となるほか、空き家についても今後も増加することが懸念されます。

このようなことから、人口減少対策特別委員会では、移住定住政策の現状を改めて見直し、婚活支援等における新たな施策の実践、また、九州周防灘地域など近隣自治体とも強みを共有できる積極的な連携を念頭に、新たな発想でこれまでにない施策を緊急4ヵ年計画としてまとめました。

中津市議会としましては、この人口減少問題を重点課題と捉え、今後とも調査研究に取り組んでまいります。

市におかれましても、本提言を踏まえ、本市の人口減少対策の推進により一層積極的に取り組まれるよう提言します。